

・ 単元案の概要

テーマ
水原の学生に聞こう！水原のあれこれ（水原の大学生事情）
目標
学習レベル 1～2（学習者によってばらつきアリ） ○ 本学は隔年で開講している現地研修「フィールドスタディーズ」という授業がある。今回の訪問地であるソウルと水原であるが、水原では水原の大学（東南保健大学校観光日本語科）を訪問し、日本人の学生に課しているフィールドワークの課題を韓国人学生に手伝ってもらうことを主な交流のテーマとし、帰国後その成果を動画にまとめることを達成目標とした。 ○ 課題として課している動画の内容は「水原の観光資源」もしくは「同世代の学生の暮らし」であるため、そこ2点を中心に意思疎通ができるように事前に教員がレクチャーを行ったり、各自事前知識を学習させたり、グループで質問項目を考えさせた。
コミュニケーション能力指標
【話題分野】 自分の身近な人々 1-a.名前や属性を言ったり訪ねたりすることができる。 1-c.簡単な自己紹介を口頭でまたは書いてすることができる。 1-d.携帯番号やメールアドレスを、口頭で伝えあうことができる。 学校生活 1-a.学校のことについて口頭でやり取りできる。 日所生活 1-a.1日の生活行動について会話できる。 1-a.1週間の生活行動について会話できる。 趣味と遊び 1-a.休みの日の過ごし方について会話できる。 1-c.どんなことをするのが好きなのか口頭で紹介しあうことができる。
学習シナリオ
●帝塚山学院大学リベラルアーツ学部では4泊5日の現地研修「フィールドスタディーズ（韓国）」を隔年で実施している。フィールドスタディーズは現地研修前に15時間、事後に3時間程度の振替入り学習を行うプログラムである。 今回の取り組みは4泊5日の中の3日目にソウルから1時間ほどの水原（世界遺産を保有する観光都市）にある東南保健大学校観光日本語科の学生と交流する。交流内容は3-4時間程度と短いため対面式・ランチ終了後は本学のフィールドスタディーズの課題を韓国人学生に手伝ってもらう（写真や動画の素材集めや取材）ことを通して交流した。 本学の参加者は男子2名、女子7名の9人であり、2年生3人、4年生6人、韓国語の実力も1年間の留学を終えた学生が2人、中級程度が3人、初級・入門が4人と言語レベルに大きく異なる点が難点である。また東南保健大学校については知人の紹介で本年2月に初めて訪

問し、先方の教員とメールでのやり取りのみで計画を推進してきた。しかし先方学生の日本語のコミュニケーション能力の把握不足だけでなく、大学組織間の連携、信頼関係の構築、相互の連絡の遅延等未知数、不安な要素もある。

様々な不安要素や難点はあるつつも、できる限りの事前準備（水原に関する情報入手や韓国人学生の生活について）をできるだけ準備し、動画という結果物が帰国後に作れるような準備をしてきた。この活動を通して外国語を使って話、物事を訪ねたり、自分について表現したり、他者・多文化の考えを理解したりすることの楽しさを伝えられてばと思った。

●水原と韓国の大学についての事前知識のレクチャー

教員が用意をした資料から水原の概要や映像、世界遺産として有名な「水原華城」についての動画映像などの視聴を1時間学習した。（韓国観光公社より水原に関する詳細なパンフレットを入手して配布した）

水原に関するレクチャー同様に教員が韓国の大学事情（大学生活、アルバイト、就活）などについて事前学習をした。また主に書籍や日本語で読める韓国の新聞なども資料として配布した。

事前レクチャーを踏まえて出発前までに「水原の観光資源」もしくは「韓国の大学生」についてのPPTを各自提出させ知識を定着させた。これは形成的評価としてループリックで評価をした。

●コミュニケーションのための最低限の韓国語能力と質問項目及びグループ作り

韓国語が読める程度の入門者と留学経験者が混在しているため入門者には別個補充授業尾を行い基本的な決まり文句の暗記やハングルの読み書きを指導した。

また全員に事前に想定されるもしくは質問をしたい項目を提出させ、教員が韓国語の翻訳をチェック、通じる程度までの発音チェックを行った。

グループにある程度韓国語ができる学生を混ぜることによって全く意志疎通ができないことは考えにくい、グループで自分の大学生活や趣味、相手に聞いたことや取材として聞きたいことなど最低25個をグループで考えさせ翻訳させた。韓国語ができない学生も必ず韓国語でいくつかの質問をして答えをえることを義務付けさせた。

「形成的評価」は各自のPPTとグループで作成した質問項目の2つを合わせたものをループリックで評価した。

●フィールドワークの実施

当日は午後に大学を訪問し、簡単な対面式後グループに分かれてランチをとった。（グループは日本人と韓国人が同数であったが韓国人学生の方が若干男子学生が多かった）その世界遺産の水原華城を全員で見学し、簡単な説明を受けて解散しそれぞれの活動を3時

間半程度行った。フィールドワーク中はできるだけ韓国語で日本人が質問し、日本人の課題に韓国人が付き合う形をとった。

●フィールドワーク終了後の東南保健大学校主催による懇親会

懇親会はできるだけ日本語で行った。懇親会までのミッションはできるだけ韓国語で行い、韓国人とコミュニケーションを取るようにさせてきたため、それに付き合ってくれた学生に敬意を表して日本語で行った。その後当日の振り返りを込めて形成的評価のレポート（当日作成可能な軽いもの）を提出させた。

●帰国後：韓国語の能力別にグループを編成し直して「水原について」もしくは「日韓の大学生比較」のどちらかをテーマとした3分間の動画制作し、相互鑑賞・評価（ループリック）をする。

*台風で想定していた授業が2時間つぶれてしまった。

総括的評価

●総括的な課題物は3分程度の動画作成である。そのためまず動画の最低限の知識を習得させる。（iphoneもしくはipadやスマートフォンのアプリでの動画作りを想定している）その際に著作権についての知識も習得させる。

●テーマは「水原の紹介」もしくは「日韓の大学生（比較の視点を入れる）」の2つのどちらかを選んで作成する。

●生徒自身による自己評価や生徒同士の相互評価、教員評価をループリックで行う。

3×3+3分析

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	ハングルが読め、あいさつや決まり文句、基本的な表現・文法が理解できる。	水原もしくは韓国の大学生についてのある一定の知識を身につける。	
できる	臆することなく韓国語で自分のことや知りたいことを質問できる。	水原という都市の特徴を理解したり、日本と韓国の大学生について比較して理解・整理できる。	動画作成に必要な動画素材（写真、動画、インタビューなどを）を韓国人学生の協力を得ながら収集し、3分間の動画にまとめることができる。
つながる	韓国人学生に水原や日常について韓国語で質問し、できる限り韓国語のやり取りで動画に必要な素材を引き出したり、用意する。	韓国人学生と協力しながら（協同）、動画作成に必要な素材を集め、異文化に対する気づきを持たせる。	1日の活動を共にした学生とSNSなどを使って学習事後もやりとりをしてお互いの言語を学びあう。 - 調査をして成果物を手塚ってくれた学生に見せたアリ、ネットで発信する。
三連携	連携1：水原や自分の身近な大学生の生活について興味を持つ 連携2：ICT 技術（動画作成に必要な ipad/iphone やそのソフトを使いこなせる）		

指示文

- ・ フィールドスタディーズ 3 日目の水原では午後の時間は東南保健大学校日本通訳学科の学生とグループワークを行う。グループワークでは「水原観光」もしくは「日韓の大学生（文化比較）」の 2 つの内どちらかを選んで、帰国後動画を作成してもらう「素材集め」をしてもらう。現場では動画に必要なソース（動画や写真や取材内容）を現地の大学生の協力を得て可能な限りゲットする。編集などは日本で行うが、予め動画の全体的なラフはグループ内で話をして考えておき、どんな素材が必要なのかは予め調べること。
- ・ 「水原観光」の動画を作成する場合はかなりの予習が必要であるし、「日韓の大学生（文化比較）」を選んだ場合は動画編集の際日本の大学生との「比較の視点」（部活動やアルバイトなど課外活動や勉強など）を必ず入れること。
- ・ グループ活動ではできる限り韓国語を使って意志疎通をすること。韓国人大学生へのインタビューは、韓国語があまり得意でない学生も数個は必ずコミュニケーションをとり、グループ内でフォローをしながら進めること。
- ・ 帰国後持ち帰った写真や動画に音楽や字幕を付けて動画を作り報告会を行うが、一緒に活動してくれた韓国人にもその動画を送るのでしっかりとしたものを作りこむこと。（イメージサンプルは事前に提示するので参考にすること）

【形成的評価ルーブリック】

評価基準	目標以上に達成 （4点）	目標を達成 （3点）	目標達成まであと少し！ （2点）	目標達成まで努力が必要 （1点）
情報収集の正確さ	内容の理解度に問題がなくカンペキ。	内容がよく咀嚼されており間違いが1つ以下。	いまいち内容を理解していない。	ほとんど内容を理解していない。
収集量（多様性）	5つ以上の多種多様な資料を使っている。	最低でも4つのバランスの取れた資料を使っている。	3、2個の資料しか使っていない。もしくは1種類の資料しか使っていない。	1種類の資料のコピペ
仕上がりが見やすさ や工夫	「目標を達成」にさらに装飾や+αの感動させる要素が盛り込まれている。	レイアウトやフォントなど、内容の構成などが一目で見てよくわかる。	レイアウトやフォント、内容の構成などに努力は見られるがわかりにくい。	レイアウトやフォント、内容の構成がめちゃくちゃ。
共同作業の度合い	積極的な議論の中で全員が一生懸命に自分の役割に忠実であった。	全員で意見を出し合い、分担を決めてある程度形となった。	数人がやる気がなく、やる気のあるグループが何とかした。	一部の人間のみ丸投げ
現地人への質問	的確でよく練った質問が30個以上	的確で、よく練った質問が25個	玉石混交な質問があり、戸数も25個をクリアできていない。	適当な質問が多く、質問の個数が20未満。
発音	よく練習し、通じないときのための写真などを用意している。	うまくなくても練習している痕跡が見られ、とりあえず通じる。	余り練習しておらず通じないことがある。	練習しておらず通じない。

【当日のフィールドワークで感じたこと】レポート

- | | | |
|--------------------------------|-----|----|
| ① 現地の大学生ととにかく楽しい時間が過ごせたか？ | YES | NO |
| ② 自分が用意した資料や韓国語は消化できたか？役に立ったか | YES | NO |
| NO の場合はどんな理由が考えられるか？ | | |
| | | |
| ③ 一番思い出深かった事、点は？ | | |
| | | |
| ④ 一番どうでもいいなと思った事、点は？ | | |
| | | |
| ⑤ 「反省点／今後の後輩へのアドバイス（システムも含めて）」 | | |
| | | |
| ⑥ 自分に点数をつけるなら何点？（その理由） | | |

【総括的評価ルーブリック】

評価基準	目標以上に達成 （4点）	目標を達成 （3点）	目標達成まであと少し！ （2点）	目標達成まで努力が必要 （1点）
内容の充実度とメリハリ	比較の視点が入っていたり、十分な資料に基づいて丁寧に作りこまれている。テンポ間がよく見ていて楽しい。さらに付き合ってくれた韓国学生への配慮などがある。	比較の視点が入っていたり、十分な資料に基づいて丁寧に作りこまれている。テンポ間がよく見ていて楽しい。	比較の視点が入っていない、複数の資料に当たっていない雑な作りとなっている。テンポがあまりよくない。	1つの資料で作られていたり、比較の視点がないなど指示を守っていない。
字幕やナレーション （韓国語／日本語）	字幕やナレーションが適切に入っているだけでなく、韓国学生にも分かるような映像になっている。	字幕やナレーションが適切かつ効果的に入っている。	効果的な字幕、ナレーションが入っていない。	字幕やナレーションが入っていない。
アニメーション・装飾やBGMのこだわり	装飾やBGMが効果的に使用されているだけでなく、人をひきつけ、感動させる工夫がみられる。	BGMや装飾が効果的に使用されている。	装飾に無駄が多すぎたり、シンプルすぎる。	装飾がほとんどされていない。
時間	3分20秒以上	3分（±20秒）	2分以下	1分以下

内容の充実度とメリハリ×3とする

目標の要素分解

個々のタスク	小目標	中目標	大目標
・観光公社の用意する水原の観光パンフレットを入手する。	・水原の観光文化（特に世界遺産である水原華城について）調べる） ・水原のその他の文化（食文化や特産物、市場）などについて調べる。 ・韓国の大学生の生活について日本を意識しながら様々な情報を得る。	・水原や大学（文化）についての最低限の知識を持ち、必要な情報を収集できる。	・水原に行き、東南保健大学校の学生と交流しながら、観光をしたり、自己紹介、自国の大学文化などを紹介しあったりすることができる。それを動画という形で表現でまとめることができる。
・インターネットや書籍、韓国の新聞の日本版で水原や大学（文化）について調べる。			
・ブレインストーミングをしながらテーマを選定する。			
・韓国人への質問を日本語で考える。	・水原の観光資源や韓国の大学生や大学事情について調べたものを質問という形に落とし込む。	・できるだけ韓国語を使い、適度なコミュニケーションを用いながら必要な情報を大学生や現地の人から引き出す。	
・質問を韓国語に翻訳し発音練習をする。（必要な韓国語の表現、単語の学習）			
・コミュニケーションをとるために写真や動画などを準備する。			

水原・大学生レポートの提出（ルーブリック評価）と質問項目【形成評価】		
・ 韓国人学生もしくは現地の人に用意をしてきた質問をぶつける。質問が分からない場合は英語や筆談などのコミュニケーションをとる。	質問を現地の韓国人の大学生や現地の人に尋ねて必要な情報を入手する。	
・ 懇親会の準備として昨今の日韓問題や話題になっていること調べ自分の意見を持っておく。		
当日の振り返りのためのルーブリック及び感想文【形成評価】		
・ ipad や iphone の操作に慣れ、写真や動画を韓国人との交流時間にたくさんとる。	・ 総轄的評価化の動画作り必要な知識を習得することができる。	
・ iMove の操作が分かり作ることができる。		
「水原観光」もしくは「日韓の大学生（文化比較）」をテーマとした動画を作成する【総轄的評価】／ルーブリック		

サンプル

<https://www.youtube.com/watch?v=8hA2P6fAqO8>

<https://www.youtube.com/watch?v=5jvXOTVvGOI>

<https://www.youtube.com/watch?v=iyUGt0zu4Yg>

メリハリゼロのだめサンプル

<https://www.youtube.com/watch?v=UNB5ygNZ8sU>

<https://www.youtube.com/watch?v=yjTj3kXadRo>

2014/11/23

・취준생の実態

- ・韓国の就職活動としては、「能力を備えること」「書類しいと考えている。他にも「心理的、時間的余裕がなくなる」とことや「就職準備費用」が高くなることなどが不安の要素らしい。
- ・この「書類しいと考えられる「能力」としてあげられるのが、「語学スコア」であり、他にも「海外経験」や「資格」などがある。語学スキルをあげるために塾に行く人もいて、そこに不安要素である就職準備費用が高くなってしまおうところにつながっていると考えられる。
- ・適いたい会社としては年俸が高いところでもなく安定した職場でもなく「雰囲気の良い会社」だと言う。就活生に聞いた希望年俸は250万円程度で2013年の大卒初任給は330万円程度よりも低く見えている。

まとめ・・・日本も外国語を必要とする会社なのであれば語学スキルは重要視されるが、そこまで全部の会社が求めているスキルでもないし、あれば良いがなくても大丈夫という会社が多いイメージがある。そして就職準備費用としては会社に行くための電車賃程度である。就職活動のために塾に行くことはあまりないと考えられる。その分韓国では外国語というのが重要視されている国だということが分かる。



01 취업 준비생의 취업률
33.0% 26.0% 13.3% 12.8% 9.0% 7.0%

<http://www.naelshot.co.kr/magazine-section/nael-university/special/12592/>

・日韓の大学の試験状況

韓国の大学	日本の大学
・前期に2回、後期に2回試験があり、1年間で計4回試験がある。	・日本は前期に1回、後期に1回、1年間で計2回試験がある。
・試験がテストだったりレポートだったりPPTでの発表だったり決まっていな。	・試験は韓国と同じで講義によってレポートやテスト、発表と決まっていな。
・成績はA～Fで評価される。	・成績はA～Fで評価する大学もあれば劣～可で評価するところもある。

・日韓のアルバイト比較

韓国	大阪
・ソウルでの平均時給が6000원程度	・大阪の大体の平均時給905円程度
・日本同様、飲食店やコンビニ、塾講師などがあるが日本より時給は低い。	・最低賃金は2014年で838円
	・主に飲食店やコンビニ、塾講師、本屋などがある。

日韓の学生アルバイト比較

- ・大阪の時給は900円それに比べて韓国では600円とかなり低い。平成19年でさえ731円なのにそれよりも低い。韓国での食材を日本人が安いと感じるのもそこに要因があるのかもしれない。時給が低い分食品なども安くしないと韓国人の生活が苦しくなるから関係しているだろう。
- ・働く場所としてはあまり変わりは見られない。日本同様飲食店やコンビニなどがある。

韓国学生にする質問

グループ

作成者

1.家で動物を飼っていますか？

집에서 동물을 ~~키르고~~ 기우고 있어요?

2.塾に行っていますか？

학원에 가고 있어요?

3.お昼はどこで食べますか？

점심은 어디서 먹어요?

4.誕生日はどのように過ごしますか？

생일은 어떻게 보내요?

5.お小遣いはもらっていますか？月いくら？

용돈은 받고 있어요? 월 한달에 얼마?

6.自転車は乗れますか？

자전거는 탈 수 있어요?

7.学校の勉強時間はどれくらいですか？

학교의 공부시간은 얼마나 되나요?

8.付き合ったらどういうところに行きますか？

~~사귀다면~~ 커플들은 어떤 곳이 가요?

9.日本のドラマは見ますか？

일본의 드라마는 봐요?

10.四季はありますか？→あまりにも質問がべた過ぎませんか？

사계절은 있어요?

11.韓国で1番オススメの食べ物はなんですか？

한국에서 ~~1번 추천~~ 가장 추천하고 싶은 음식은 뭐예요?

12.辛い食べ物と辛くない食べ物どっちが好きですか？

매운 음식과 맵지않은 음식 어느쪽을 좋아해요?

13.ここは行っておいた方がいい所はどこですか？

여기는 가볼 만하다하고 생각하는 곳은 어디예요?

14.学校が終わったらどこに遊びに行きますか？

학교가 끝나면 어디에 놀러가요?

15.お母さんと一緒によく買い物に行きますか？

엄마랑 함께 잘 쇼핑을 가고있어요?

16.カラオケはよく行きますか？

노래방은 자주 가요?

17.1人で外食はよくしますか？

혼자 잘 외식을 해요?

18.運動はしますか？何をしますか？

운동은 해요? 뭐해요?

19.家族旅行はいつ、どこに行きましたか?

가족 여행은 언제,어디에 갔어요?

20.韓国学生ならではと思うものはなんですか?

한국학생다운 것(특별히 한국학생만이 하는 것)은 어떤 것이라 생각해요?

21.日本に来るとしてどこに行きたいですか?

일본에 오면 어디로 가고싶어요?

22.日本の歌手や芸能人で好きな人はいますか?

일본의 가수 나 연예인으로 좋아하는 사람이 있어요?

23.日本の食べ物で好きな物はなんですか?

일본의 음식에서 좋아하는것은 뭐예요?

24.日本語で何が最も難しいですか?

일본어로 뭐가 가장 어려워요?

25.日本語で好きな言葉はありますか?

일본어로 좋아하는말은 있어요?

帝塚山学院大学リベラルアーツ学部(韓国文化・韓国語専攻) 古田 富建

【当日のフィールドワークで感じたこと】レポート

① 現地の大学生ととにかく楽しい時間が過ごせたか? YES NO

② 自分が用意した資料や韓国語は消化できたか?役に立ったか YES NO
NOの場合はどんな理由が考えられるか?

③ 一番思い出深かった事、点は?

水原の大学生との交流が一番思い出深かったです。唯一韓国語勉強出来たり自ら発音する場でもあったから
他にも大学生と交流することで韓国の文化や今流行っているものなどの情報交換が出来たからです。
外が寒くて水原華城自体はあまり長く見本なかったが、その分カフェで長い時間話すことが出来たので良かったです。

④ 一番どうでもいいなと思った事、点は?

場所がどうでもいいなと思った所は無いのですが、地下鉄での移動により、スケジュールが違ったりしていたので
安くするためにこの移動手段を選んだのと初めて韓国に来る学生にとっては地下鉄に乗ることも一つの経験になるのだ
は仕方ないかなとは思いましたが...

⑤ 「反省点/今後の後輩へのアドバイス(システムも含めて)」

来年、次回もこの時期なのでやはり「厚着をすること!!」

⑥ 自分に点数をつけるなら何点?(その理由)

90点です。高得点かもしれないですが、その分課題や学生との交流には自分なりに力を入れて取り組みました。
韓国語を出来るだけ使うようことを言われていたので、そこも頑張りました。あとの10点は最後の動画制作を作って
提出させたら満点になると思います。

【当日のフィールドワークで感じたこと】レポート

1 現地の大学生ととにかく楽しい時間を過ごせたか？

YES

2 自分が用意した資料や韓国語は消化できたか？

YES

3 一番思い出深かった事、点は？

韓国の恋愛事情について聞いたこと。おすすめの韓国ドラマ教えてもらった事。などを話したカフェでのトーク。

4 一番どうでもいいなと思った事、点は？

1つ1つが新鮮で、全部楽しかったので特にはないです。

5 「反省点／今後の後輩へのアドバイス（システムも含めて）」

冬に行かない方が良いでしょう。めちゃくちゃ寒かったので・・・

とにかくあの日は寒くて、せっかく水原の世界遺産を見に行ったのにも関わらず、全く見なかったことです。寒いのはどうにもなりませんが、せっかく行ったのに上の方にもいかずすぐカフェに行ったことが今になって少し後悔です。

6 自分に点数をつけるなら何点？（その理由）

65点！

聞きたいことはしっかり聞けたり、とても楽しくお話しできたが、寒さのあまり外にあまり出なかったのが観光ができなかったからです。

1. 学習者の個人的特性に対する対応

「フィールドスタディーズ」という授業は韓国人学生との交流だけを目的とした授業ではないだけでなく、韓国語専攻の学生にのみ門戸が開かれているわけではない。また全学年に開かれているため、モチベーションや語学力、精神年齢や性格による社交性などに学生によりかなり多様性が見られた。今回は幸いにもハングルも読めず韓国語の履修をしていない学生が2人と少なかったため、その学生へのフォローを中心に行った。

2. 対応

- ・まず韓国語未修者には留学経験がある、もしくは未修者と仲のいい韓国語履修者にサポートを依頼して1学期中にハングルの読み書きができるようにさせた。2学期に入り、ある程度の韓国語の挨拶や決まり文句を補充授業を通して暗記させるというフォローはした。
- ・未修者は経験者と同じグループにして安心感を与えたが、必ず質問をするように指示を出した。(自分のした質問の返答は分からなくてもフォローができる体制であり、韓国人学生は日本語ができるため問題がない)
- ・留学経験があり、韓国社会についてある程度精通している学生には懇親会などで難しい日韓問題(慰安婦問題や歴史認識)に対しても聞くなどアドバイスした(事前の授業でも関心を持っていただけてなく、フィールドスタディーズの訪問地でもあった)